令和８年１０月３０日
（一財）電気技術者試験センター

第三種電気主任技術者試験のＣＢＴ方式への移行について（令和１０年度～）

第三種電気主任技術者試験につきまして、令和１０年度（２０２８年度）より原則として（※）CBT 方式（PC と情報ネットワークを用いて実施する試験方式）に移行することといたしましたので、お知らせします。

これにより、受験者の方は、筆記方式試験（PBT 方式）と比較して、より多くの試験会場や受験期間から、ご自身の都合に応じて受験日時・会場を選択することができます。**また、科目ごとに別の日・別の会場で受験することができるほか、複数科目を同日に連続して受験することも可能です。このため、「4 科目を 1 日で受験する」「2 科目ずつ 2 日に分けて受験する」など、受験者の都合に応じて柔軟に受験日程を選択することができます。**

さらに、試験終了後には得点が表示され、その場で結果を確認することができます。また、CBT 方式には、解答漏れや二重解答などを防止する機能が備わっています。試験開始後は、受験者ご自身のタイミングで試験を終了し、退出することができます。

CBT 方式についてご不安がある方、予習をしたい方につきましては、当センターホームページに CBT 方式（体験版）等のサポートツールを掲載していますのでご活用ください。

※1 災害等で通信ネットワーク障害等など CBT 方式での試験が実施出来ない場合、必要に応じて PBT 方式で実施してまいります。

※2 これまで続けてきた問題公表については、引き続き類題・例題として、公表してまいります。また、問題作成方針についても、引き続き公表してまいります。

※3 第一種、第二種電気主任技術者試験の試験方式は、変更ありません。

令和９年度	令和１０年度以降
上期　CBT,　PBT	上期　CBT
下期　CBT,　PBT	下期　CBT

お問い合わせ先：
一般財団法人　電気技術者試験センター
受験総合支援センター　9 時～17 時
Mail：answer@shiken.or.jp
電話：03-3552-7691

第三種　電気主任技術者試験の傾向について

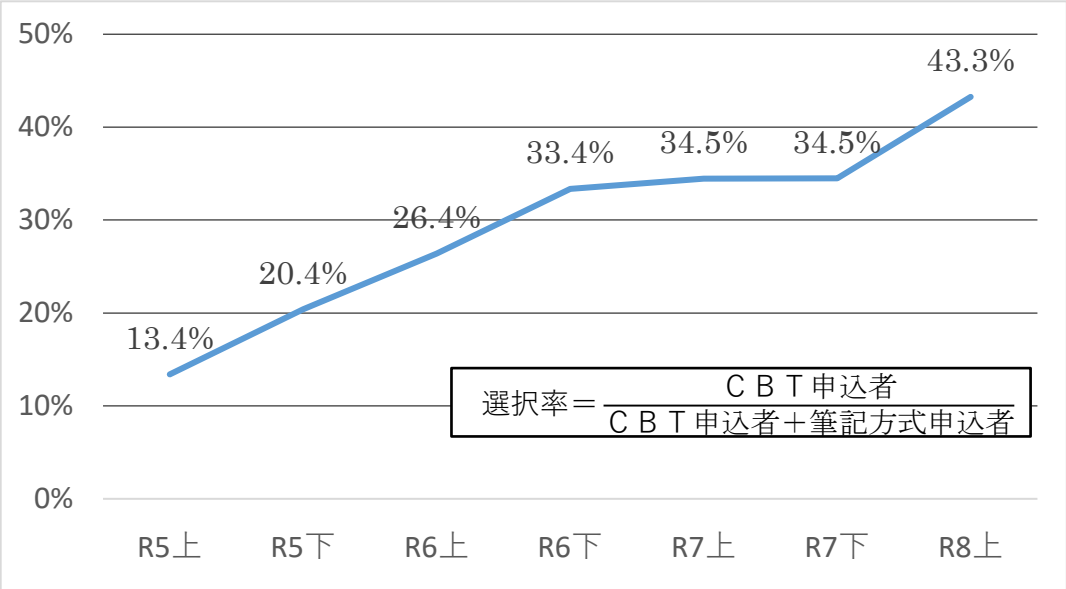


図　ＣＢＴ方式の選択率の推移（R5上～R8上）

表　ＣＢＴ方式と筆記方式との比較（R8上　受験率・合格率）

	受験率※	合格率
ＣＢＴ方式	79.4%	14.1%
筆記方式	74.2%	11.8%

※申込者のうち、実際に受験された方の比率